

大学名： 愛知教育大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
<p>学校のユネスコスクール加盟を支援します。</p>	<p>1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。</p>	<p>・ユネスコスクール加盟希望の学校からの相談について、個別に対応した。(西尾市立福地南部小学校、田原市立泉小学校、長久手市立西小学校)</p>
	<p>2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。</p>	<p>・西尾市立福地南部小学校、田原市立泉小学校、長久手市立西小学校との相談を行った。</p>
	<p>3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。</p>	<p>・毎年、愛知県ユネスコスクール指導者研修会を開催し、県内外の ESD/SDGs を実践する学校の事例紹介を行うと同時に、最新の情報提供を含む講師による講演を行っている。</p> <p>・愛知県のユネスコスクール支援会議に参加し、愛知県における ESD/SDGs の活動支援協力や推進を行っている。</p> <p>・愛知県教育委員会と連携し、ユネスコスクール支援事業に積極的に協力を行っている。</p> <p>・ESD for 2030 AICHI プロジェクト[令和3年度ユネスコ活動費補助金(SDGs 達成の担い手(ESD)育成推進事業)]において、ユネスコスクールを含む県内の教員(23名)が授業実践を行い、大学、教育委員会、学生等と共に、研究会等を通し、教員の質向上に取り組んだ。</p>
<p>大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。</p>	<p>1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。</p>	<p>・愛知県ユネスコスクール支援会議において、資料提供や情報提供を実施している。</p> <p>・愛知県のユネスコスクール交流会と本学主催のユネスコスクール指導者研修会を合同で開催し、県内の教員に向けて効果的な情報提供や事例紹介を展開している。</p> <p>・愛知県のユネスコスクール支援事業に本学の教員が講師として協力している。</p> <p>・本学の教員や学生が ESD/SDGs に関する教材や指導法のワークショップを展開している。</p> <p>・ESD for 2030 AICHI プロジェクトでの研究会やワークショップ等を通して、講義やコーディネートの支援を行った。</p>
	<p>2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。</p>	<p>・愛知県のユネスコスクール交流会と本学主催のユネスコスクール指導者研修会を合同で開催し、県内の教員に向けて効果的な情報提供や事例紹介を展開している。</p> <p>・愛知県のユネスコスクール支援事業に、本学の教員が講師として協力している。</p> <p>・本学の教員や学生が、ESD/SDGs に関する教材や指導法のワークショップを展開している。</p>
	<p>3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。</p>	<p>・ESD for 2030 AICHI プロジェクトでの研究会やワークショップ等を通して、協働して授業モデルを開発した。</p>

地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県教育委員会主催によるユネスコスクール支援会議の一員として、学校、企業、関連団体と情報共有を行っている。 ・ESD for 2030 AICHI プロジェクトでの成果発表として公開フォーラムを開催し、ESD の推進と普及を図った。 愛知教育大学 「ESD for 2030」 AICHI プロジェクト 公開フォーラムを開催 https://www.aichi-edu.ac.jp/pickup/2022/03/01_010461.html
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。	
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県教育委員会主催によるユネスコスクール支援会議の一員として、学校、企業、関連団体と情報共有を行っている。 ・ESD for 2030 AICHI プロジェクトを通して、大学、教育委員会、現場の教員との連携を促進した。
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	・ユネスコスクール指導者研修会にて県外のユネスコスクールによる事例紹介を行うと同時に、県外のスクールに愛知県の活動事例を紹介した。
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	・ユネスコスクール指導者研修会にて県外のユネスコスクールを招聘し、県外の事例紹介を行うと同時に、県外のスクールに愛知県の活動事例を紹介した。
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	・ESD for 2030 AICHI プロジェクトにおいて、年間を通して取り組みを行い、成果発表として公開フォーラムを開催し、ESD の意義について普及する機会とした。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	・学部内の講義の一部として、本学を含めたユネスコスクールの紹介ならびに活動意義などを解説している。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	・ESD for 2030 AICHI プロジェクトにおいて、県内の SDGs 未来都市にあるユネスコスクールを含む小中学校および高等学校の教員にアンケートを行い、ESD 実践の実態を把握した。

	4. 自由記述	
--	---------	--